



学校教育目標「豊かな心と 確かな学力 つながりあう学校」

No.4

庄内西小学校だより

令和5年(2023年)5月15日発行

校長 西口肇子



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください。

水泳学習について

毎年、暑くなってくると、海や川、ため池などでの子どもの水難事故が多発します。いざという時、自分の命を守るすべとなる水泳は大切な学習です。日本で水泳の授業が始まるきっかけとなったのは、1995年に相次いで起こった2つの水難事故でした。

修学旅行中の小中学生を含む168人が溺死した「紫雲丸事故」。海での水泳訓練中に生徒36人が溺死した「橋北中学校水難事件」。この痛ましい2つの事故が大きなきっかけになり、1960年代以降、学校へのプール設置が急速に進みました。世界的に見ても、学校にプールが設置され、水泳の授業があるという国は珍しいのだそうです。本校では、服を着たまま水に落ちた場合でも溺れない方法を学ばせる「着衣水泳(着衣泳)」の授業も行っています。(5,6年生のみ)

今年度も子どもたちの安全に十分配慮しながら、6月19日(月)より水泳の授業を行います。ご家庭でも、健康管理へのご協力をよろしくお願いします。

必ず提出していただくもの

★『水泳学習に関する健康調査票』

23日(火)に配付しますので、「個人情報用の通い封筒」に入れて、29日(月)までに提出してください。心臓疾患・眼科疾患・耳鼻科疾患など、疾病が認められる場合、水泳学習はできませんのでご注意ください。また、プールには入れるが、配慮が必要な事項がある場合は、ご記入ください。

準備していただくもの

- ① 水着…紺色(黒色)の水泳に適した水着(詳細は右ページをご覧ください。)
- ② 水泳帽…これまで複数学年で授業をしていたため、学年で帽子の色を決めていましたが、昨年度から、全学年購入しやすい白色にしています。
(5,6年は、今までかぶっていた帽子でも白色の帽子でもかまいません。)
1年~4年⇒白色 5年⇒黄色(白色) 6年⇒橙色(白色)
泳いでいる時に見えるよう**名字**を**後頭部**に大きく記入してください。
- ③ ラップタオル…ゴム入りでかぶれるタイプのものが着替えやすいと思います。
- ④ ビーチサンダル ⑤ ビーチバッグ ⑥ ぬれたものを入れるふくろ

着用を認めているもの ⇒ なくてもかまいません。

- ゴーグル…サイズを確かめベルトの調節を済ませておいてください。水に顔をつけた時、中に水が入らないか、お風呂の中などで確認してください。
指導者から児童の目が見えないのでミラータイプは避けてください。
- ラッシュガード…紺・黒・白などの無地で**フードのついていないもの**

後ろ側



水着について

本校は、水着についての指定はなく、黒か紺の無地であればOKとしています。サイズが小さくなっていないか必ずチェックしてください。新しく購入される場合は、下記の図を参考にしてください。



男女ともどのパターンでもOK! ラッシュガードやゴーグルも着用可です。



- × ひらひらのフリルやスカートがついている水着は、泳ぎにくいので、水泳の学習には適しません。
- × 水泳帽は、必ず持たせください。忘れると入水できません。
(貸し出し用はありません。)

★6年生で、買い替えを考えておられる方は、豊中七中指定の水着を購入していただいてもかまいません。(購入方法については、別途お知らせします。)

おねがいします



*見学する時は、必ずお知らせください。

- ・体温チェックカードはなくなりましたが、毎朝、ご家庭での健康観察は続けていただいていると思います。水泳学習のある日は、特に念入りに、健康チェックをお願いします。見学する時は、必ず、コドモンや連絡帳などでお知らせください。

*すべての持ち物に名前を書いてください。

- ・水泳の後は、更衣室への忘れ物が多発します。名前が書いてあれば、すぐに持ち主に返すことができますので、必ず、記名してください。
- ・水着に名札を縫い付けていただく必要はありませんが、わかりやすいところに、必ず、名前を書いてください。(おなまえテープ等でも可)
- ・下着、靴下などは、記名しにくいと思いますが、一番、忘れ物になりやすいです。

*耳垢を取り、爪を切ってください。

- ・耳垢があるまま水に入ると、中耳炎等になるリスクがあります。また、爪がのびていると、周りの子にケガをさせる危険があります。手の爪だけでなく、足の爪も必ず切ってください。